

ボランティア
情報

ピュア



ボランティア情報メール配信サービスのご案内

登録の方法

〇QRコードを読み取り、「vc@koshigaya-syakyo.com」に空メールを送信してください。
〇QRコードが読み取れない場合は、上記アドレスに空メールを送信してください。
〇送信する際は件名に「配信希望」と入力し、本文には何も入力しないでください。
〇受信する端末に迷惑メール対策の設定がされていると、受信できない場合がありますのでご注意ください。

申込み
問合せ

ボランティア相談コーナー
☎(966)3412

開設時間
月～土曜日 午前10時～午後4時
場所
越谷市越ヶ谷4-1-1
中央市民会館2階

募集 自分のために、そして誰かのためにできる活動を、体験を通して一緒に活動してみませんか？
ボランティア相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。

『点字はなみずき』

日毎月第1・第3火曜日
時10:00～16:00
場越谷市中央市民会館
内視覚障がい者のための点訳
他点字に興味ある方、
見学に来てください。



『ちょっとボール』

日時毎月第1月曜日13:30～16:00
毎月第3木曜日 9:30～12:00
場市内高齢者施設、イベント、自治会等
内ボール等を使用してのリハビリスポーツ
持動きやすい服装
他第3木曜日に体験実施中

『あみもの』

日毎月第1木曜日、第2・4火曜日
時10:00～16:00
場越谷市中央市民会館
内障がい者、高齢者とあみものを
通じて交流
持あみものに必要な道具、お弁当

『グレースガーデン越谷』

日毎週火・木・金曜日 どれか1日
時13:00～15:00
場特別養護老人ホームグレースガーデン越谷
(大字砂原125-1)
内話し相手、折り紙・ぬりえ等を通しての交流
持飲み物

『福祉体験学習サポーター』

日平日の昼間 時2時間程
場市内小中学校、高校等
内福祉体験学習中の児童および生徒の見守り・
補助(車いす・ガイドヘルプ・高齢疑似体験)
他資格・経験不要。まずは、お気軽にお問い合わせください。



『あなたの経験を生かしませんか？福祉体験学習 協力者募集』

日平日の昼間 時2時間程 場市内小中学校、高校等 対越谷市内在住・在学・在勤の障がいのある方
内障がい者福祉に対する理解の促進を図ることを目的にご自身の日常生活や得意なことを市内
小中学生等に向けてお話していただきます。職員・ボランティアでサポートしますので、話す
ことが苦手な方も大丈夫です。
他資格・経験不要。まずは、お気軽にお問い合わせください。



出張 ご要望に応じて出張します！お気軽にお申し込みください。

『福祉体験学習』

福祉教育の一環として、福祉体験学習を行っています。
体験学習は、“自分とは関係のない”障がい者や高齢者について学ぶためのものではなく、今同じ空間にいきている様々な人
たちの存在を知り、共に生きていくための知恵と力を身につけるための「きっかけ」です。お気軽にご相談ください。



ボランティアフェスティバルこしがや

子育て応援フェスタ

あなたが笑顔。わたしも笑顔。

12月7日(土)越谷市中央市民会館にて、「第28回ボランティアフェスティバルこしがや」「令和元年度子育て応援フェスタ」
が開催されました。当日は、冷たい雨が降りそそぐ中での開催となりましたが、その雨のおかげで隣にいる人の優しさがより
あたたかく感じることでできる1日となりました。また、悪天候にも関わらず、多くの方にご来場いただき、会場全体が熱気に
包まれました。当日お越しいただいた皆様、また開催にご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました！



ボランティア活動の更なる活性化の
ために、ボランティアの募集・出張情
報を掲載したいボランティア団体等
を募集しています。掲載を希望する
場合は、ボランティアセンターへお
問い合わせください。

問合せ ボランティア
センター ☎(966)3211

『小鳩越谷ホーム』

日毎月第1・3木曜日
時9:30～11:30
場越谷ホーム(南荻島1987)
内利用者との交流
持北越谷駅西口より送迎あり
*8:50集合



令和元年台風第19号
災害義援金の募集について

この度の災害により、被災された皆
様に心よりお見舞い申し上げます。
台風第19号埼玉県災害義援金
1月31日(金)まで
〇受付場所/埼玉県共同募金会越谷
市支会(越谷市社会福祉協議会)
そのほかの義援金についても受け
付けております。

問合せ 地域福祉課地域福祉担当
☎(966)3411

越谷市災害ボランティア
登録者募集！



令和元年台風15号並びに第19号に伴う
災害復興支援事業
「災害ボランティア活動」について

昨年11月27日、29日の2日に分かれて、災
害ボランティア登録者10名及び職員4名が、
福島県いわき市において、土砂等の片付けな
どのボランティア活動を行いました。災害ボ
ランティア登録者として、29日に参加してい
ただいた小川雅敬さんにお話を伺いました。
「一人暮らし高齢者宅の庭の泥かきと清掃
を行いました。膝ほどの高さまで浸水被害が
あり、流れ着いた土砂やごみ等を片付けた土
のう袋は約30袋にもなりました。重い泥をか
く作業は大変でしたが、活動を通じて様々
な方とのつながりもでき、良い経験にもなり
ました。
今後日本各地で災害が起きる可能性があ
りますが、非常時こそ助け合っていないとい
けないと思います。今回の被災地での活動
を通じて、国など公的機関からの支援では補
えない部分をボランティアが担っていかね
ばならないと再認識しました」。